

No	頁	位置表示	修正すべき内容	新内容
1	1	17 行	磁気素子とデバイス	磁気素子とスイッチングデバイス
2	9	表 1.4	UPS (Uninterrupted Power System)	UPS (Uninterruptible Power Supply)
3	15	問題 1.4	…注意せよ.	…注意せよ. 本問は計算ステップの取り方を検討する問題である.).
4	30	下 3 行	抵抗率	抵抗
5	40	下 3 行	電源の電源の電圧	電源の電圧
6	46	1 行	スイッチのオンオフ	他のスイッチのオンオフ
7	47	問題 2.3	効果がもたらせられる	効果がもたらせられるか
8	53	表 3.1	(昇圧チョップ) $E_2/E_1 = (T_{on} + T_{off})/T_{on}$	$E_2/E_1 = (T_{on} + T_{off})/T_{off}$
9	60	式(3.14)	$\dots = \frac{1}{2} \frac{(E_1 T_{on})^2}{L} \frac{E_1}{E_2 - E_1} = E_2 I_2 T$	$\dots = \frac{1}{2} \frac{(E_1 T_{on})^2}{L} \frac{E_2}{E_2 - E_1} = E_2 I_2 T$
10	62	図 3.9	(電圧センサ記号) 	
11	83	下 9 行	平滑リアクトルを挿入しないのが	磁気素子の挿入なしに負荷自身のリアクトル成分を利用するのが
12	83	下 3 行	交流に変換	正弦波交流に変換
13	84	図 4.2	(図中, 正相変調波の表示が上, 負相変調波の表示が下である.)	(正負相変調波の表示を上下入れ替える)
14	84	下 2 行	変調波 (周波数)	変調波 (modulation wave, 周波数)
15	85	図 4.3 c	(基本波部位の補助目盛線が余分)	(当該目盛線削除)
16	87	11 行	<b>VVVV</b> の機能	このような <b>VVVV</b> の機能
17	86	下 1 行	図 4.2 のように, 180 度位相の	図 4.2 のように, 180 度位相差の
18	93	9 行	電動機における場合のように物理的空間	電動機における場合のように, 一定の条件を満たせば, 物理的空間
19	93	下 10 行	瞬時空間ベクトル	瞬時値空間ベクトル
20	100	例題 4.5	「例題 4.5」 (例題番号の重複)	「例題 4.5A」
21	101	下 8 行	直流電圧となって	直流電圧源となって
22	102	下 5 行	定常解のほうは時間関数 $t$ を含んでいないが, 過渡解は	右辺第 1 項の定常解のほうは時間関数 $t$ を含んでいないが, 第 2 項の過渡解は

23	108	図 4.24 (a)		
24	109	3行	<b>SVPWM</b> : Space Vector Pulse Modulation Method	<b>SVPWM</b> : Space Vector Pulse Width Modulation
25	113	9行	パルスの時系列のパルス幅	時系列パルスのパルス幅
26	116	下4行	図 4.28 (b)	図 4.20 (b)
27	118	図 4.35	周波数倍率 $K_F$ の変化	周波数倍率 $K_F$ の切換
28	127	図 4.44 (a)		
			(100 ステップごとの電流サンプリング値を誤って混入したため、これを削除した。サンプリング値のばらつきが減少した。)	
29	150	7行	$\alpha$ に対して	$\alpha$ に対応して
30	156	下2行	図 5.4	図 5.10
31	156	式(5.17)	$\sqrt{\frac{1}{T} \int_0^T e^2 dt} = \frac{E_m}{\sqrt{2}}$	$\sqrt{\frac{1}{T} \int_0^T e^2_{UV} dt} = \frac{E_m}{\sqrt{2}}$
32	157	式(5.18)	$\frac{1}{T} \int_0^{T/2} e dt = \frac{2}{\pi} E_m$	$\frac{1}{T} \int_0^{T/2} e_{UV} dt = \frac{2}{\pi} E_m$
33	158	8行	を引き起こすこともある。	を引き起こすこともある。これが EMC 問題の一事例である。
34	158	式(5.29)	$e_{UV} = e_{ab} e^{-j30^\circ}$	$\dot{E}_{UV} = \dot{E}_{ab} e^{-j30^\circ}$
35	175	8行	の目的で交流スイッチ	の目的に用いる交流スイッチ

36	177	7行	…可変速駆動に、また、	…可変速駆動に、一方、
37	181	下11行	高調波の流出	高調波電流の流出
38	183	2行	ランプ抵抗の非線形性	この例ではランプ抵抗の非線形性
39	185	下1行	オンオフ制御という、	オンオフ制御という。なお、経済的見地から、実用のTSCではサイリスタとダイオードとの並列スイッチを用いるのが一般的である。
40	206	下1行	また、過渡状態での回路動作も説明できるように過渡項 $pL_{22}i_0''$ も図示されている ( $p = (d/dt)$ )	回転子回路にある速度起電力 $j\omega_s L_{22}i_0''$ は電圧源負荷 (VRL) で示されている。
41	207	図8.4		
42	207	図8.4	…誘導機等価回路 (過渡項含む)	…誘導機等価回路 (二次変換回路)
43	207	式(8.7)	$i_1'' = i_0'' + i_2''$	$i_0'' = (M/L_{22}) i_1'' + i_2''$
44	207	式(8.8)	$(p + j\omega_s) L_{22} i_0'' = R_2 i_2''$	$0 = (p + j\omega_s) L_{22} i_0'' = R_2 i_2''$
45	207	式(8.9)	$T = L_{22} i_0'' \times i_2''$	$T =  i_2'' \times L_{22} i_0'' $
46	208	下7行	$i_{1d}$ と $i_q$	$i_{1d}$ と $i_{1q}$
47	214	下2行	他励インバータ	他励コンバータ